

秋季特別展

「茶壺道中展」開催!

有名な「ずいずいづつころばし」の一節「茶壺におわれてとっぴんしゃん」は、江戸時代に行なわれていた、物々しい茶壺道中の行列に追われる子どもたちの姿を頷つたものといわれています。徳川將軍家御用の茶を江戸城に運ぶ宇治採茶使の一行を「茶壺道中」と呼び、その派遣は慶長18年(1613)を初見として、幕末の慶応3年(1867)まで250年にわたって続けられました。勅使(天皇の使者)の行列に次ぐ扱いとして権威づけられ、その通行が大名行列より優先されるようになったのは、徒歩頭が年番で勤めることが定められた寛永10年(1633)2月からとされています。

茶壺道中は、18世紀の初め頃まで往路は東海道、復路は中山道・甲州街道を経由していたとされ、その途中、甲州谷村(現都留市)に立ち寄って、茶壺を谷村藩主秋元家に預け、夏のあいだ谷村勝山城の茶壺蔵へ格納していたといわれています。その期間については諸説ありますが、一説には寛永年間(1624~43)から元禄3年(1690)頃までといわれており、当時の茶壺道中において、都留市は要となる重要な土地だったといえます。

將軍家と幕府の権威をあらわす一端を担った茶壺道中と、城下町として繁栄し、郡内地方の中心であった江戸時代の都留市の関わりについて、その一端を感じていただければ幸いです。



「宇治御茶壺之巻」(部分) 国立国会図書館蔵



「古代製茶之図」(部分) 宇治上林記念館蔵



將軍家献上茶壺(復元)
宇治市歴史資料館蔵

●関連イベント●

「宇治茶を味わおう」

日時

9月15日(日)・10月6日(日)

午後2時

会場 ミュージアム都留図書

情報室・エントランスホール

朗読劇「お茶壺ぎつね」

日時

9月15日(日)・10月27日(日)

午後3時

会場 ミュージアム都留

エントランスホール

会期	9月1日(日)~10月27日(日)
開館時間	午前9時~午後4時30分(入館は4時まで)
休館日	9月2・9・17・24・30日、10月7・15・21日
観覧料金	一般 600円(420円)
	高校・大学生 400円(280円)
	小・中学生 200円(140円)
()内は20名以上の団体料金です。	

「ミュージアムランキング」開催!

いろいろなことに挑戦して、きみだけの記録をつくってみよう!

9・10月のテーマ

竹とんぼにチャレンジ!
作りかた、とばしかた、いろいろためしてみよう!

日時 毎週土・日曜日

午前10時~午後4時

※ただし、9月15日は行いません

会場 ミュージアム都留

エントランスホール

・事前の申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。



※9月24日(火)の『芭蕉月待講座』は、予定どおり開催します。

申込・問合せ

都留市博物館

「ミュージアム都留」

☎(45)8008

☎(45)8608